



2026年 2月26日

各 位

会社名 ReYuu Japan株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 重富 崇史
(東証スタンダード: 9425)
問合せ先 執行役員 企画管理部長 武本 遼祐
電話番号 03-6230-9388
U R L <https://www.reyuu-japan.com/>

AI 戦略室の新設および AI インフラ事業への参入に関するお知らせ -リユース×AI×インフラによる事業高度化-

当社は、全社横断組織「AI 戦略室」を本日付で設置し、AI 関連領域への取り組みを強化するとともに、AI 用サーバーを取り扱う AI インフラ事業へ参入することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

リ・ユースフルな未来へ



1. 背景

生成 AI の急速な普及により、企業競争力は「データ活用」と「計算資源」の確保に大きく依存する時代へ移行しております。AI 産業は、データ、アルゴリズム、計算資源（AI 用サーバー等のインフラ）の三層構造で成り立っており、AI の高度化とともにインフラ需要も拡大しています。

当社は、年間約 20 万台規模の端末を取り扱うリユース事業を通じ、IT 機器の調達・販売・品質管理に関するノウハウを蓄積してまいりました。

今後は、このような背景のもと、AI 戦略室を設置し、外部技術の活用を前提とした当社リユース事業の AI 高度化やデータ資産の活用を進めてまいります。また、並行して、当社が培ってきた IT 機器の調達・品質管理・法人販売の強みを活かし、AI インフラ事業へ参入することで、事業ポートフォリオの強化を図ってまいります。

2. AI 戦略室の設置

AI 戦略室は、当社の AI 活用を統括・推進する組織として設置し、下記の役割を担います。

- ・ 全社 AI 戦略の策定・実行推進

- ・リユース機器の再生や物流を担う当社「モバイルリファビッシュセンター」へのAI実装
 - ・データ基盤整備およびガバナンス構築
 - ・AI関連商材の企画・拡販
- AIを単なる効率化施策に留めず、事業成長の中核ドライバーと位置付け、全社的な高度化を推進してまいります。

3. モバイルリファビッシュセンターへのAI実装

(1) AIによる外観品質自動判定の導入

端末外観のキズや劣化状態をAIにより自動判定し、検査工程の標準化、高速化および精度向上を図ります。これにより検査時間の削減および判定品質の均質化を目指します。また、判定データを継続的に蓄積することで、モデル精度の向上および将来的なデータ活用基盤の構築を進めてまいります。

(2) 業務自動化の推進

以下の業務について自動化を進め、オペレーションの最適化と生産性向上を目指します。

- ・端末IDの検索およびデータ入力作業の自動化
- ・端末検査ソフト(Blanco)の検査結果の自動連携
- ・在庫化情報の自動生成およびラベル発行
- ・RFIDタグ活用による出荷ピックアップ効率化
- ・各種データによる需要予測

これにより、人的作業の削減、処理能力の向上およびオペレーション全体の最適化を図ります。

4. AIインフラ事業への参入

生成AI市場の拡大に伴い、高性能GPUを搭載したAI用サーバーの需要が増加しております。当社は、従来より培ってきたIT機器取扱ノウハウおよび法人顧客基盤を活かし、AI用サーバーをはじめとするAI関連インフラ商材の取り扱いを開始し、AIインフラ事業へ参入いたします。

本取り組みは、既存のIT機器取扱領域の延長線上に位置付けられるものであり、リユース事業とのシナジー創出を図るものです。

5. 今後の見通し

本件が当期業績に与える影響は軽微です。

以上